

川とダムと暮らし



カスリーン台風で町の大半が水没した尾島町役場付近(昭和22年)



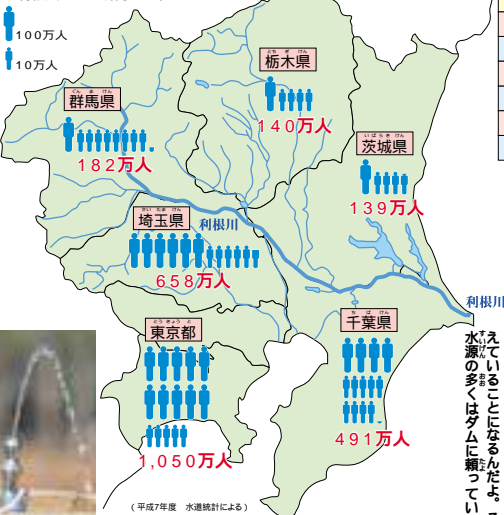
ダムって何だろっ? どんないことをしてるんだろっ?

ダムがなかった頃は台風で大きな災害が起きたんだ。

みんなが生きている前のことなだけで、昭和二十二年九月十日、カスリーン台風と命を奪った大きな台風が日本に上陸。とても多くの雨が降り、埼玉県で利根川の堤防がこわれてしまった。その影響で、埼玉県東部の町や村をのみみながら、東京の下町一帯をも水没させてしまった。利根川の水があふれると、その水は東京にまで押し寄せてしまっただよ、群馬県でも大きな被害があり、多の家の流されたり、多くの人が死んでしまったんだ。

利根川をはじめ、日本の川は短くて流れが急なので、大雨が降ると一度にたくさん水が流れてしまい、川があふれて家や田んぼが水びたしにな

利根川からの給水区域



カスリーン台風による群馬県内の被害状況

流出	1,936戸
倒壊家屋	1,948戸
半壊家屋	70,957戸
家屋の浸水	592名
死者	107名
行方不明	315名
傷者	

(群馬県調査資料より)

大雨が降ったときに、利根川の上流にダムをつくって、川の水量を調整するようになったんだ。反対に、雨が降らなくて日照りが続いたら、川の水が減ったときに、必要な水を必要に応じて使えるように、ダムにためておいた水をこぼして、毎日の暮らしに困らないようにしているんだ。

利根川は関東地方の飲み水を支えているんだ。

利根川は群馬県と新潟県の県境にある大水上山を水源とし、関東平野を流れ、太平洋に注いでいるたいへん大きな川なんだ。流域面積(川に水が流れる面積)は日本で二番、川の長さも日本で二番目の長さなんだよ。

群馬県には、どんなところにダムがあるの?

みんなが生きているところで使われているのは、利根川の水なんだけれど、この川の水は、群馬県の山の中にあるこぼれかたよな、左の地図の利根川の上流を見るとたくさんあるよな、そのたくさんさんのダムが利根川を流れていて、みんなの生活に役立っているんだ。利根川は、昭和三十一年にできた藤原ダムをはじめ、たくさんダムがある。そのうちの7割のダムは水をコントロールしているのが「国土交通省関東地方整備局利根川ダム統合管理事務所」というところなんだ。

